

昭和初期の昆虫関連図案消印

(公財)日本郵趣協会 昆虫切手研究会

昭和の時代の昆虫関連図案の入った風景入通信日付印では“養蚕業”を表す桑や蚕が産業の衰退により、また自然の豊かさを現すホタルなども現在ではそのほとんどが図案から消えてしまいました。また、小型通信日付印には現在では存在しない記念事項名がたくさんあります。

昭和初期(昭和12年まで)の昆虫図案絵入り印で、“昭和の時代”を感じていただけたらと思います。

昭和 100 年記念

JPS昆虫切手研究会



昭和初期の昆虫関連図案消印

風景印は昭和6年4月1日広東州租借地で使用されたのが始まりで、昭和16年太平洋戦争が始まると使用されなくなり、昭和23年1月1日に新図案で使用再開されました。その地の名所旧跡や産業、特産物などをモチーフにしていますので、昭和の時代の昆虫関連図案の入った風景印はほとんどが“桑の葉、蚕、絹織物”で“養蚕業”を表していますが、産業の衰退により現在ではそのほとんどが図案から消えてしまいました。また記念印としては特殊通信日付印(特印)、色変わり日付印の使用後、昭和9年から特印より一回り小型の記念図案入りの小型通信日付印が色変わり日付印に替わって使用されるようになりましたが昭和15年11月を最後に使用中止になりました。小型印もその記念事項からして現在ではあり得ないような催事がたくさんあります。昭和初期(昭和12年まで)の昆虫図案絵入り印で、“昭和の時代”を感じていただけたらと思います。

参考文献：『戦前の小型記念スタンプ集』2013年 日本郵趣出版
『風景印大百科』CD 2017年 日本郵趣出版



東京中央局小型印 大日本織物協会五十周年記念展覧會
10.5.20-29 商工奨励館、織姫、蚕鏡

戦前風景印

岐阜 高富局 11.1.11 ~

愛知 長久手局 11.2.26 ~



法華寺の風景に記念碑とホタル
戦後昭和58年の新規使用でホタルは消えた



御旗山の遠景に池田公碑と古戦場における
諸大名の紋章(右上アゲハチヨウ紋含む)
戦後昭和33年新規使用で長久手古戦場のみ、
平成22年の図案改正で古戦場石碑のみになつた

岐阜 鏡島局 11.5.16 ~



乙津寺大師堂と厄除け碑にちりめん織物
戦後昭和33年の新規使用でも
名産縮緬が入っている

戦前小型印

下諏訪局 10.4.17 ~ 21
下諏訪局式場内(臨時)

鹿児島 宮之城局 11.1.11 ~ 14
宮之城局学校内(臨時)



「銅像除幕式記念」
第二代片倉兼太郎翁銅像除幕式に因み、
竣工せる第二代片倉兼太郎翁銅像を描き、
桑を配す。



「宮之城農藝学校 創立二十五周年記念」
宮之城農藝学校創立二十五周年式典に因み、
紫尾山を遠景と宮之城農藝学校全景を描き、
名勝轟の瀬を配す。

二代目片倉兼太郎(1863年 - 1934年)
1920年片倉組を片倉製糸紡績株式会社として法人化。
1928年、諏訪湖畔に「片倉館」を開設する。
製糸業から発展し、片倉財閥を形成した。

福井局 11.10.27 ~ 31 福井局式場内及び会場内 (ともに臨時)



「福井縣織物同業組合創立五十周年展覧會記念」
福井縣織物同業組合創立五十周年記念式並びに
輸出絹織物振興奨励會出品展覧會に因み、
織物同業組合事務所を描き糸巻を配す。